

鶴岡市観光客動向調査 令和3年度（4月～9月）

【 上半期 総括 】

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、回答者に占める山形県内居住割合は、46.9%と昨年度の41.1%からさらに増加。
一方で、宮城県を含む隣県居住者の割合は18.1%と、昨年度の26.1%を下回っている。
- ・ アンケート回答数は、Go To キャンペーンが本格化した昨年11月が937件であり、今年の最低は4月の176件（11.7%）で、最高は7月の384件（25.6%）と低調に推移している。
- ・ 観光スポットの訪問状況は、昨年度よりも全体的に減少している。
- ・ 1人あたりの宿泊費については、概ね、約1,000円～3,000円程度上昇している。4月1日から義務化された税込総額表示の影響も考えられる。

【 主な傾向 】

1 居住地別

山形県が、46.9%と昨年度の41.1%からさらに増加。一方で、宮城、新潟などは、減少が目立ち、隣県計は、全体の18.1%と昨年度の26.1%を下回っている。

首都圏は、19.1%と、昨年度18.1%を上回ったが、東京都が増加したことによるもので、隣接3県は横ばいか減少している。

2 月別

回答者の上期の合計は、1,500人で、昨年上期の956人よりも多くなっているが、月別では、最多は7月で384人、最少は4月で176人となっている。4月から7月までは、前年同月を大幅に上回ったが、8、9月が前年を下回っている。

3 年代別

50代が最も多く28.4%、次いで60代が26.5%といずれも昨年度より増加。減少傾向の70代は、6.6%と昨年度よりさらに減少。

30代は12.7%と昨年度を僅かに上回ったが、40代～60代が7割を超え、全体の傾向としては大きく変わっていない。

4 男女別

男性が37%、女性が62%で、昨年度とほぼ同じ傾向となっている。

【 調査概要 】

- ・ 期 間 令和3年4月1日から9月30日（調査継続中）
- ・ 回答者 1,500人（令和2年度累計3,363人）
- ・ 方 法 宿泊・観光施設等でQR付きカードを送付し、観光客がネット上で回答。
- ・ 協 力 静岡県立大学渡邊研究室